

「仁淀川の“緑と清流”を再生する会」24周年記念シンポジウム 「林業再生で川の再生へ」

(主催：仁淀川の“緑と清流”を再生する会)

予想を超える54名の参加（町内40名、町外14名）がありました。町外からは町議や県議の参加もあり、林業の再生や川の再生への関心の高さを感じました。ただ、予想を超える参加者に、会場準備が追いついていなかったり、駐車場の案内ができてなかったりで、参加者の皆様には大変ご不便とご迷惑をおかけしました。

仁淀川町の奥田農林課長の講演では、仁淀川町の林業再生への先進的な取り組みを大変分かり易く話していただきました。参加者からは、「役場職員が林業再生にこれほど意欲的な取り組みをされているとは知らなかった。すごい。」との感想が寄せられています。

パネルディスカッションでは、林業従事者からはそれぞれの取り組みの状況の報告、漁協からは黒森山での10年にわたる広葉樹の植樹活動とそれにより谷川の水が復活したことなどが報告されました。講師やパネラーだけでなく、会場の皆さまからも色々な意見が出され、充実した会となりました。

(文責：仁淀川の“緑と清流”を再生する会 園山幹雄氏)

